

学校紹介
新聞

茨城県立

石岡第一高等学校



- ◆校長 白土 毅
- ◆生徒数 943人
- ◆創立 1910年
- ◆住所 石岡市石岡1の9

2023年度県学校農業クラブ連盟大会式典の様子

生徒主体の活動



農業クラブ、他校と交流

全国の農業高校生の学習活動である「農業クラブ」では、校内活動として、農業鑑定競技会やプロジェクト発表会の運営、そしてコロナ禍のため実施ができなかった収穫祭などがあります。昨年度は収穫祭の代わりに農産物販売会を行いました。

また、他校との交流ではリーダー研修会、FFJ（日本学校農業クラブ連盟）研修会に参加しています。普段の学校生活では他校生と関わる機会がないので、とても貴重な体験ができました。

本年度は農業クラブ全国大会が熊本県で行われます。その中に活動について話し合うクラブ員代表者会議があり、全国の代表のみなさんと話をしたいと思います。農業クラブではさまざまな体験ができ、新しい発見や出会いがあり充実した活動ができます。（3年 野原慎乃）



どんな学校です！



学年ごとに行われるクラスマッチ

団結深めるクラスマッチ

石岡一高は約1000人の生徒が在籍し、県内の公立高校では大規模な学校の一つです。全日制普通科・園芸科・造園科、定時制普通科があり、特色のある授業が開講されています。校舎はとてもきれいで設備も整っており、また、駅から近いため通学にとっても便利です。


学校行事としては、山王祭、収穫祭、クラスマッチなどがあります。これらの行事を通して、クラスの団結力を深め、充実した学校生活を送ることができます。

また、石岡一高にはたくさんの部活動があり、多くの実績を残しています。学習面では大学、専門学校、就職など一人一人の進路に合わせて、先生方が親身になって指導し、相談に乗ってくださいます。ここ数年では多数の国公立大学合格者を輩出しています。

今後も充実した高校生活を送り、進路実現のために努力していきたいと思います。（2年 幡合奏）

みんなで企画、準備した「山王祭」


わくわく学校行事




盛り上がった山王祭

私は今年、本校の文化祭「山王祭」で文化祭実行委員長を務めました。クラスみんなで本番に向けて準備をし、当日は雨でしたが、ステージ発表、クラス企画、キッチンカーなど大盛り上がりの2日間でした。初日は文化部のコラボ発表から始まり、吹奏楽部が演奏し、演劇部作成の動画に合わせて書道部作成のテーマや造園部のフラワーアレンジメントが飾られました。ダンス部はKポップの曲をメインに元気で切れのあるダンスを見せてくれました。2日目は各クラスで縁日やお化け屋敷などの発表があり、凝った飾り付けでお客さんをもてなしました。

コロナ感染症の流行で開催できなかった分まで、高校生活最後の山王祭を行ってとてもうれしかったです。思い出に残る最高の文化祭になりました。（3年 鈴木淳菜）



がんばっています！




ウエートリフティング部の練習の様子

重量挙げ、大会で入賞

石岡一高の部活動は運動部、文化部、同好会、農芸部を合わせ27と多くの部が活動し、それぞれの部が実績をおさめています。今回は本校の特色の一つであるウエートリフティング部について紹介します。ウエートリフティングは、バーベルを床から一気に頭上まで持ちあげる「スナッチ」と、床から鎖骨の位置まで持ちあげ、その後頭上まであげる「クリーン&ジャーク」のトータル重量で競い合う競技です。

本校は本年度、関東大会で団体戦3位入賞を果たし、個人戦でもインターハイ出場を果たしました。高校から始める人が多い競技ですが、1kgでも重い重量を上げられるようフォームの改善や筋力の強化など、自分に足りないものを考えて練習しています。個人競技ですがチームとして互いに応援し、支え合いながら頑張っています。（3年 寺島凜空）



茨城新聞 第14回 新聞感想文コンクール

新聞を読んで感じたこと
あなたの言葉で書いてみよう



次回は9月27日県立玉造工業高校です

応募資格
小中学校や高校に在学する児童・生徒。
小学1～3年、小学4～6年、中学生、高校生の4部門

応募課題
2023年1月以降に載った新聞記事を読んでの感想。
小学1～3年生は家族に記事を読んでもらい、感想を作文にしたものでも結構です。
※著作権は茨城新聞社に帰属します。作品の返却はしません。

応募方法
①学校単位でも個人でも応募可能
（未発表作品で1人1点に限る）
②募集要項チラシ裏面の専用の原稿用紙（コピー可）か、市販のB4版400字詰め原稿用紙を使用してください。
③専用の原稿用紙の場合は、記入欄に必要事項を書くこと。
市販の原稿用紙の場合は、1ページ目の1行目に題名、2行目に学校名、学年、3行目に氏名（ふりがな）、4行目に新聞名と掲載日を記入し、5行目から書き始めてください。作品の最後に住所、電話番号、保護者氏名を記入してください。
④原稿用紙と同じ大きさ（B4）の紙に、読んだ記事（コピー可）を貼り、原稿とセットして送付する。
⑤小学1～3年生は400～600字、小学4～6年生は600～800字、中学生、高校生は800～1200字。
⑥学校単位で申し込む際は、学校名と応募児童・生徒の名簿（漢字・ふりがな）、担当教諭名、連絡先を添付してください（体裁自由）。

応募先
〒310-8686 水戸市笠原町978-25
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係

応募締切
2023年
11月6日
必着

表 彰
①文部科学大臣賞、知事賞、県教育長賞、茨城新聞社長賞、茨城県長賞など。
②上位入賞者は、2023年12月、茨城新聞の紙面で発表します。
③表彰式は、2024年2月3日に出水戸市内で開催予定です。

お問い合わせ
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係
TEL029(239)3030 平日9:00～17:00

ご自宅で新聞を購読されていない方は茨城新聞を
7日間無料お試し読みできます。
お申し込みは ☎0120-029-218
または右のQRコードからHPで

